



2009年2月20日

報道関係各位

社団法人 日本アメリカンフットボール協会

『ノートルダム・ジャパン・ボウル2009』  
あの伝説のQB ジョー・モンタナらが特別親善大使として来日へ！  
NFL 歴代3位のWR ティム・ブラウンがコーチングスタッフとして参戦決定！

社団法人日本アメリカンフットボール協会（谷口輝雄理事長）は、本日、東京ドームホテルに於いて、日本アメリカンフットボール75周年を記念し、2009年7月25日（土）に開催する『ノートルダム・ジャパン・ボウル2009』（於:東京ドーム）についての記者発表会を実施し、ノートルダム大学出身でNFL（全米プロアメリカンフットボールリーグ）史上最高のQBの1人と称されるジョー・モンタナとNFLで9年に渡り活躍したマイク・ゴリックが本大会の特別親善大使に就任し、大会にあわせて来日することを発表いたしました。

さらに、同じくノートルダム大学出身で、1987年に全米最優秀選手賞ハイズマン杯に輝き、NFL ロサンゼルス/オークランド・レイダースで活躍しNFL歴代3位となるレシーブヤードを保持するティム・ブラウンが、日本代表チームと対戦するノートルダム大学ファイティング・アイリッシュ”レジェンズ”（以降レジェンズ）のアシスタントコーチに就任することも明らかになりました。

モンタナは、NFL サンフランシスコ・49ersを1980年代に4度のスーパーボウル制覇に導くなど、どんな状況においても冷静沈着なプレーで数々の逆転劇を演出し、チームに黄金時代をもたらしました。”モンタナ・マジック”と呼ばれた数々の劇的なプレーは日本においてもNFL人気に火をつけ、CM出演なども果たしました。ノートルダム大学では1977年にシーズン途中からスターターに任命されると、その年にファイティング・アイリッシュを10回目となる全米王者へと導いています。モンタナは今回の特別親善大使任命について、「ノートルダム大学を代表し、特別親善大使として日本に戻れることにとっても興奮しています。選手時代も含め、日本は何度も訪れたことがあります、いつでも日本の美しさ、人々からの歓迎などにより、すばらしい経験となっています」とコメントしています。

この他、レジェンズを率いるルー・ホルツを迎えて行われた記者発表会では、レジェンズの選手の一部が発表となりました。メンバーには、ジェフ・バリスらNFL経験も豊富な14選手が第一陣として選出されています。また、レジェンズは試合の5日前に来日し、練習以外にも親善活動等を行う予定です。

なお、『ノートルダム・ジャパン・ボウル2009』のチケットは、4月からの発売を予定しております。チケット発売の詳細に関しましては、改めてお知らせいたします。

大会の最新情報は、大会オフィシャルサイト（URL: [www.americanfootball.jp/ndjb](http://www.americanfootball.jp/ndjb)）に随時掲載いたしますので、ぜひご参照ください。

※ この件についてのお問い合わせは（社）日本アメリカンフットボール協会までお願い致します。

〒108-0072 東京都港区白金 1-1-8 グレース白金 102

TEL: 03-3280-6610 FAX: 03-3280-6620 E-mail: [press@americanfootball.jp](mailto:press@americanfootball.jp)



社団法人日本アメリカンフットボール協会  
〒108-0072 東京都港区白金 1-1-8 グレース白金 102  
TEL:03-3280-6610 FAX:03-3280-6620

## 大会開催概要

- 1) 大会名称: <英文表記> Notre Dame Japan Bowl 2009  
<日本文表記> ノートルダム・ジャパン・ボウル 2009
- 2) 日時: 2009年7月25日(土) / キックオフ時間未定
- 3) 場所: 東京ドーム
- 4) 対戦カード: 日本代表 対 ノートルダム・ファイティング・アイリッシュ“レジェンズ”  
※NCAA(全米大学体育協会)規定下では現役選手による国際試合は実施できないことから卒業生により編成
- 5) 主催: 社団法人 日本アメリカンフットボール協会
- 6) 後援: 読売新聞社
- 7) チケット発売: 4月開始を予定

## 『ノートルダム・ジャパン・ボウル2009』特別親善大使

### ■ ジョー・モンタナ (Joe Montana)

サンフランシスコ・49ersで14年、カンサスシティ・チーフスで2年、計16年をNFLでプレー。49ersでは1980年代にチームを4度のスーパーボウル制覇へと導き、そのうち史上唯一となる3度のスーパーボウルでMVPを獲得している。その他にも、8度のプロボウル(NFLオールスター戦)選出、3度のオールプロ(NFLベスト11)、2度のリーグMVPに進出されるなどの実績により、2000年にはプロフットボール・ホール・オブ・フェーム・入りを果たしている。NFL史上最高のQBの呼び声も高いモンタナの魅力は、“モンタナ・マジック”と呼ばれる、冷静な判断が生み出す試合終盤での逆転劇にある。モンタナが演出した31回の第4Qの逆転の中には、第23回スーパーボウルでの残り時間約3分からの92ヤードのTDドライブなど、現在でも人々に語り継がれているプレーが数多くある。ノートルダム大学には1974年に入学。当時はQBとして7番目であった。1977年のシーズン途中からスターターの座をつかみ、その年、チームを全米王者へと導いた。

### ■ マイク・ゴリック (Mike Golic)

ノートルダム大学時代は、最終学年にキャプテンと務めた。9年に渡るNFLキャリアでは、ヒューストン・オイラーズ(現テネシー・タイタンズ)、フィラデルフィア・イーグルス、マイアミ・ドルフィンズでDTとして活躍した。引退後はコメンテーターとなり、ゴリックがホストの1人を務める米ESPNラジオのスポーツトークショー「マイク&マイク・イン・ザ・モーニング」は、全米で310のラジオ局で放送されるなど人気を得ている。ラジオ以外でも、ESPNのNFL番組を中心に活躍をしている。

## ノートルダム大学ファイティング・アイリッシュ“レジェンズ” アシスタントコーチ(新規発表のみ)

### ■ ティム・ブラウン (Tim Brown)

担当: ワイドレシーバー

ノートルダム大ではオフェンス、キックリターンなどを総合した総獲得距離5,024ヤード(1試合平均116.8ヤード)、22TDを獲得。レシーブでの2,493ヤードの獲得では、当時のチーム記録を樹立した。最終学年となった1987年には、WRとして史上初めて全米大学最優秀賞のハイズマン杯に輝いた。1988年のNFLドラフトでは、全体6番目の指名でロサンゼルス・レイダース(現オークランド・レイダース)入りを果たし、ルーキー・イヤーからキックオフリターンでNFLをリードするなど、活躍を見せた。レイダースで16シーズン、タンパベイ・バッカニアーズで1シーズンと17年に渡る輝かしいNFLキャリアでは、9度のプロボウル(NFLオールスター戦)選出、引退時NFL歴代2位となる14,934ヤードのレシーブ、1,094レシーブ(同歴代3位)、100TD(同歴代3位タイ)など、数々の記録を打ち立てた。